



バラエティ豊かなスプレーギク品種の開発



アイシングマーチ



愛知3号¹⁾



愛知5号¹⁾



ホワイトハット



ドリームスター



ホワイトインパクト



プリティアラ



スプレーアイチ
夏1号²⁾



スプレーアイチ
秋1号

（花き研究所、園芸研究部花きグループ、東三河農業研究所開発）

背景

スプレーギクはプレゼント用の花束やアレンジメントなど、様々な用途で利用される花です。愛知県のスプレーギク生産は作付面積213ha、出荷本数8,550万本（2015年産）で全国1位を誇ります。

試験場は色々な用途に対応するため、多様なタイプの品種開発に取り組んできました。

成果の内容

試験場は、スプレーギクの主要産地である田原市、豊川市の気象、土質に合う環境条件で、生産者の要望も取り入れながら品種開発に取り組んできました。

これまでに、1994年に開発した「アイシングマーチ」から2014年の「スプレーアイチ秋1号」まで、花色や花形のバラエティに富んだ9品種を開発しました。

愛知県農業への貢献

開発された品種は、田原市、豊川市などから出荷されています。今後も各種の要望に応える品種を開発し、更なる産地強化を目指します。

1) キリンビール株式会社（現 ジャパンアグリバイオ株式会社）と共同育成

2) 全国農業協同組合連合会と共同育成